

I F R S 移行経験の共有に係る アンケート調査結果

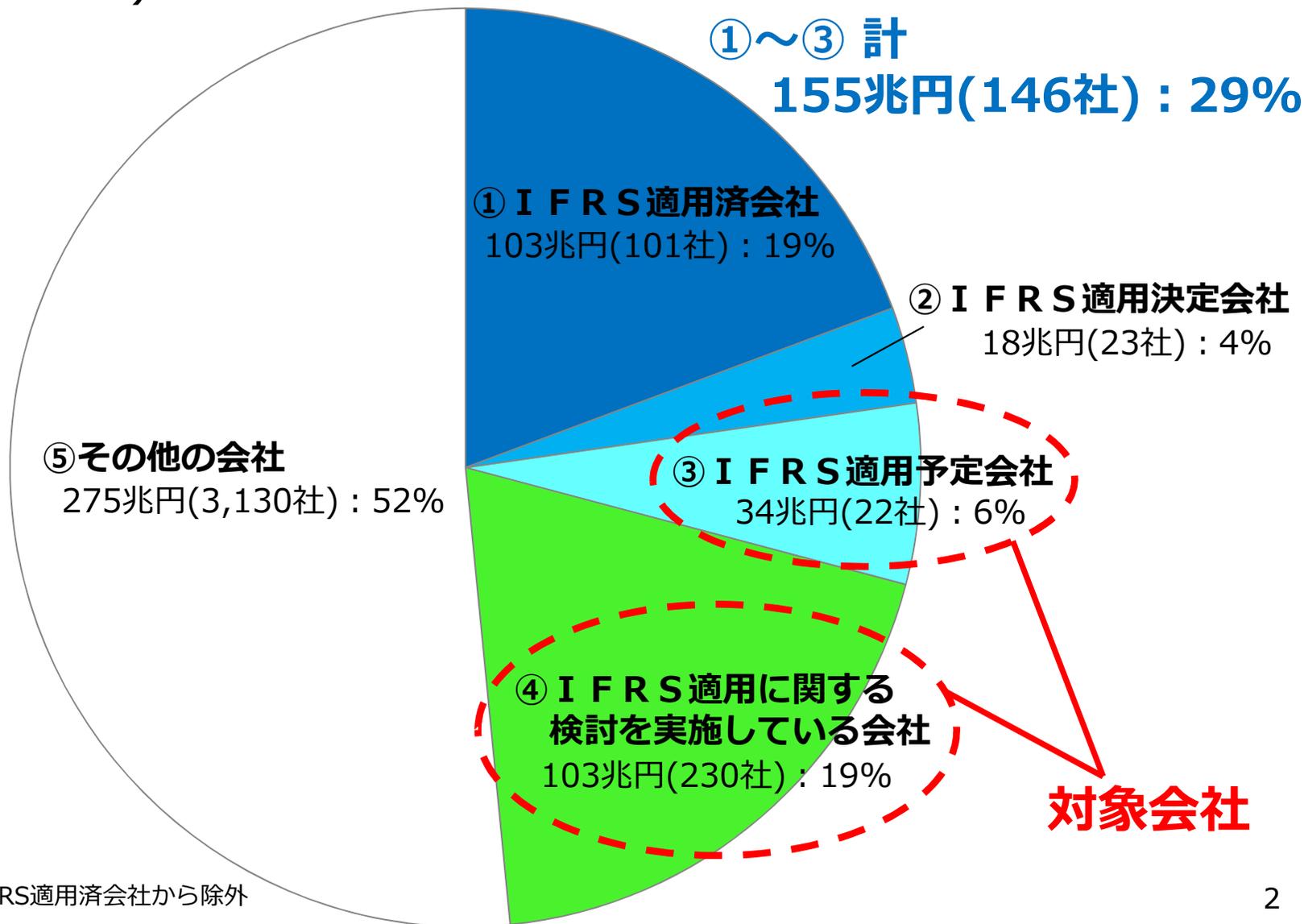
株式会社日本取引所グループ

1. アンケート対象会社

東証上場会社

534兆円(3,506社)

2016年11月11日現在



(注1) 時価総額は2016年10月末時点

(注2) 日本合成化学工業は上場廃止のためIFRS適用済会社から除外

2. アンケート内容

<1. IFRS適用に関する検討状況>

IFRSの適用に関して、現在実施している具体的な検討事項をご回答ください。(複数回答可)

- ① IFRSに関する情報収集
- ② 社内体制の整備
- ③ 導入プロセスの検討
- ④ IFRSの知識の習得
- ⑤ IFRSと現在適用している基準（日本基準・米国基準）との差異分析
- ⑥ IFRS適用による影響度調査・分析
- ⑦ 会計方針の検討
- ⑧ 社内のマニュアル・指針の整備
- ⑨ 決算期の統一
- ⑩ その他（自由記載）

<2. IFRS適用時期>

社内で当面の目標としているIFRSの適用時期をご回答ください。(複数回答可)

- ① ~2018年3月期
- ② 2018年4月期~2019年3月期
- ③ 2019年4月期~2020年3月期
- ④ 2020年4月期以降
- ⑤ 目標時期未定

備考欄

2. アンケート内容

<3. IFRS適用に関する経験>

セミナーで、すでにIFRSを適用している会社から聞きたい話をご回答ください。(複数回答可)

- ① 経営者等がIFRS適用を決定する際に考慮した点は何か。
(例えば、IFRS適用理由、メリット、デメリット等)
- ② IFRS適用の検討を進めていく中でどのような分野にコストや時間をかけたのか。
- ③ IFRS適用により業績評価や予算管理などの経営管理にどのような影響があったか。
- ④ 社内のIFRSに関する理解を促進するために、経理・財務部門以外の部署との調整をどのように行ったのか。
- ⑤ IFRSへの移行のタイミング(1Q短信から/年度短信から/有報から等)の決定に際して何を考慮したのか。
(例えば、メリット・デメリット等)
- ⑥ IFRSの難易度の高い会計処理(開示含む)に対してどのように対応したのか。
- ⑦ グループ会計方針を作成するに際して、連結子会社等との調整をどのように行ったのか。
(例えば、トップダウン方式・ボトムアップ方式等)
- ⑧ IFRS適用前後の投資家への説明においてどのような工夫をしたのか。
(例えば、従来ベースの営業利益の開示等)
- ⑨ IFRS適用初年度における有価証券報告書等の開示について留意すべき事項は何か。
- ⑩ IFRS適用前後における監査対応について留意すべき事項は何か。
(例えば、監査法人との合意が困難であった論点等)
- ⑪ IFRS導入の際にどのように社内整備を行ったか。
- ⑫ IFRS適用の検討を進めていく中で、どのように情報収集を行ったか。
- ⑬ その他(自由記載:例えば監査法人にアドバイザーをお願いしたか等)

3. アンケート回答状況

□ アンケート対象会社の業種別回答状況は以下のとおり

252社中185社回答：回答率73%

業種	会社数	回収	回収率	業種	会社数	回収	回収率
化学	29社	23社	79%	証券・先物	4社	4社	100%
機械	28社	21社	75%	非鉄	4社	4社	100%
電機	27社	20社	74%	建設	4社	3社	75%
情報通信	21社	13社	62%	鉄鋼	4社	2社	50%
輸送	20社	18社	90%	繊維	3社	3社	100%
卸売	15社	11社	73%	他金融	3社	3社	100%
サービス	15社	10社	67%	精密	3社	2社	67%
小売	11社	5社	45%	陸運	2社	2社	100%
他製品	9社	6社	67%	石油石炭	2社	2社	100%
医薬品	8社	6社	75%	倉庫運輸	2社	1社	50%
食料品	8社	6社	75%	電気ガス	2社	1社	50%
銀行	7社	5社	71%	ガラス	1社	1社	100%
ゴム	6社	4社	67%	鋳業	1社	1社	100%
金属	6社	3社	50%	不動産	1社	1社	100%
保険	5社	4社	80%	パルプ紙	1社	0社	0%

4. アンケート集計結果（1.検討事項）

- 現在実施している具体的な検討事項のアンケート結果は以下のとおり

内容	会社数
① I F R Sに関する情報収集	1 5 5社
④ I F R Sの知識の習得	1 1 1社
⑤ I F R Sと現在適用している基準（日本基準・米国基準）との差異分析	8 4社
⑥ I F R S適用による影響度調査・分析	7 6社
⑦会計方針の検討	6 5社
③導入プロセスの検討	6 4社
②社内体制の整備	5 4社
⑨決算期の統一	4 8社
⑧社内のマニュアル・指針の整備	4 6社

4. アンケート集計結果（2.適用時期）

- 目標としている適用時期のアンケート結果は以下のとおり

内容	I F R S適用 予定会社数	I F R S検討 実施会社数	合計
① ~2018年3月期	8社	9社	17社
② 2018年4月期~2019年3月期	5社	10社	15社
③ 2019年4月期~2020年3月期	3社	10社	13社
④ 2020年4月期以降	0社	9社	9社
⑤ 目標時期未定	3社	128社	131社
未回答	3社	64社	67社
合計	22社	230社	252社

4. アンケート集計結果 (3.セミナーのニーズ)

□ IFRS適用予定又は検討を実施している会社がセミナーで聞きたい内容のアンケート結果は以下のとおり

内容	会社数
③IFRS適用により業績評価や予算管理などの経営管理にどのような影響があったか。	110社
①経営者等がIFRS適用を決定する際に考慮した点は何か。(例えば、IFRS適用理由、メリット、デメリット等)	110社
⑨IFRS適用初年度における有価証券報告書等の開示について留意すべき事項は何か。	95社
⑥IFRSの難易度の高い会計処理(開示含む)に対してどのように対応したのか。	93社
⑪IFRS導入の際にどのように社内整備を行ったか。	93社
⑧IFRS適用前後の投資家への説明においてどのような工夫をしたのか。(例えば、従来ベースの営業利益の開示等)	92社
②IFRS適用の検討を進めていく中でどのような分野にコストや時間をかけたのか。	90社
⑤IFRSへの移行のタイミング(1Q短信から/年度短信から/有報から等)の決定に際して何を考慮したのか。 (例えば、メリット・デメリット等)	85社
④社内のIFRSに関する理解を促進するために、経理・財務部門以外の部署との調整をどのように行ったのか。	84社
⑩IFRS適用前後における監査対応について留意すべき事項は何か。(例えば、監査法人との合意が困難であった論点等)	83社
⑦グループ会計方針を作成するに際して、連結子会社等との調整をどのように行ったのか。 (例えば、トップダウン方式・ボトムアップ方式等)	66社
⑫IFRS適用の検討を進めていく中で、どのように情報収集を行ったか。	47社

4. アンケート集計結果 (3.セミナーのニーズ)

- その他 (自由記載) のアンケート結果は以下のとおり (1/2)

【メリット・デメリット】

- IFRS適用前にメリット・デメリットと考えていたことが、適用後にどうであったか。
- IFRSを適用したことによる具体的なメリット・デメリット (個別項目についてのメリット・デメリット、総合的にIFRS適用をしてよかったのかどうか) を、経営管理の視点の他、経理財務部門の負担の点からの話しがきければよい。
- 適用前に認識していなかったメリット・デメリットで、適用後に気がついた点は何か。

【IFRS導入費用】

- IFRS導入に掛かった総費用(導入コンサル、会計システムの改廃、人件費など)はどれくらいか。
- 総額でどの程度コストをかけたか。

【外部コンサルを利用したか】

- 監査法人やコンサルにアドバイザリーをお願いしたか。
- 外部コンサルを入れたか。入れた場合は、どのくらい費用がかかったか。
- もし自社単独で実施した会社があれば、その反省点、苦勞した点等があればどんな部分か。

【社内体制の整備】

- IFRS導入において、IFRS専任のプロジェクトチームを設立したかどうか。
- IFRSを適用するに向け、IFRS専任担当者を別途用意したか、それとも現行の連結決算(開示担当者)が兼任して対応に当たったかどうか。
- 並行開示期間のリソースの確保について。

4. アンケート集計結果 (3.セミナーのニーズ)

- その他 (自由記載) のアンケート結果は以下のとおり (2/2)

【グループ内の調整】

- 関連会社との調整をどのように行なったか (親会社のIFRSでの会計方針と自社の会計方針に差異があった場合の対応方法など)。
- 社内の他部門のIFRSに対する受け止め方について。

【決算プロセス】

- IFRS適用時に決算スケジュールを後ろ倒しとしたかどうか。現状維持が可能となるように取り組んだか。
- IFRS組換情報の回収方法について。子会社で組換まで実施させ、親会社は集約するだけとしたか、親会社側で組換まで実施するようにしたか。また、その意思決定のプロセスと判断における主要因。

【その他】

- IFRS導入の社内決定から、導入までの期間について。
- グループの経理関連業務にどのような影響を与えたか。
- IFRSにおける「重要性」をどのように考えたか。「重要性」の基準をどのように設定・運用しているか。
- IFRSの開示を行うに当たって、開示項目を最終的にどのように決めたか。
- グループ会社で会計期間を統一したか。会計期間を変更した場合は、何社変更し、また、どの程度の期間を要したか。
- IFRS移行時又は移行後においてJ-SOX対応で留意した事項又は苦労した点は何か。
- 「IFRSの適用を早まった (IFRS適用をしなければ良かった)」と思う会社がもしあれば、その理由は何か。
- 記帳通貨変更の検討はしたか。

4. アンケート集計結果《時価総額別》

□ 時価総額1兆円以上の会社がセミナーで聞きたい内容のアンケート結果

36社中28社回答

内容	会社数
③IFRS適用により業績評価や予算管理などの経営管理にどのような影響があったか。	21社
⑧IFRS適用前後の投資家への説明においてどのような工夫をしたのか。(例えば、従来ベースの営業利益の開示等)	19社
①経営者等がIFRS適用を決定する際に考慮した点は何か。(例えば、IFRS適用理由、メリット、デメリット等)	15社
⑩IFRS適用前後における監査対応について留意すべき事項は何か。(例えば、監査法人との合意が困難であった論点等)	15社
⑤IFRSへの移行のタイミング(1Q短信から/年度短信から/有報から等)の決定に際して何を考慮したのか。(例えば、メリット・デメリット等)	14社
⑨IFRS適用初年度における有価証券報告書等の開示について留意すべき事項は何か。	14社
⑥IFRSの難易度の高い会計処理(開示含む)に対してどのように対応したのか。	11社
⑪IFRS導入の際にどのように社内整備を行ったか。	11社
②IFRS適用の検討を進めていく中でどのような分野にコストや時間をかけたのか。	10社
⑦グループ会計方針を作成するに際して、連結子会社等との調整をどのように行ったのか。(例えば、トップダウン方式・ボトムアップ方式等)	10社
④社内のIFRSに関する理解を促進するために、経理・財務部門以外の部署との調整をどのように行ったのか。	9社
⑫IFRS適用の検討を進めていく中で、どのように情報収集を行ったか。	8社

4. アンケート集計結果《時価総額別》

□ 時価総額1,000億円以上1兆円未満の会社がセミナーで聞きたい内容のアンケート結果

102社中77社回答

内容	会社数
③IFRS適用により業績評価や予算管理などの経営管理にどのような影響があったか。	49社
⑧IFRS適用前後の投資家への説明においてどのような工夫をしたのか。(例えば、従来ベースの営業利益の開示等)	48社
①経営者等がIFRS適用を決定する際に考慮した点は何か。(例えば、IFRS適用理由、メリット、デメリット等)	42社
②IFRS適用の検討を進めていく中でどのような分野にコストや時間をかけたのか。	42社
④社内のIFRSに関する理解を促進するために、経理・財務部門以外の部署との調整をどのように行ったのか。	41社
⑨IFRS適用初年度における有価証券報告書等の開示について留意すべき事項は何か。	41社
⑥IFRSの難易度の高い会計処理(開示含む)に対してどのように対応したのか。	38社
⑩IFRS適用前後における監査対応について留意すべき事項は何か。(例えば、監査法人との合意が困難であった論点等)	36社
⑪IFRS導入の際にどのように社内整備を行ったか。	35社
⑤IFRSへの移行のタイミング(1Q短信から/年度短信から/有報から等)の決定に際して何を考慮したのか。(例えば、メリット・デメリット等)	34社
⑦グループ会計方針を作成するに際して、連結子会社等との調整をどのように行ったのか。(例えば、トップダウン方式・ボトムアップ方式等)	32社
⑫IFRS適用の検討を進めていく中で、どのように情報収集を行ったか。	18社

4. アンケート集計結果《時価総額別》

□ 時価総額1,000億円未満の会社がセミナーで聞きたい内容のアンケート結果

114社中80社回答

内容	会社数
①経営者等がIFRS適用を決定する際に考慮した点は何か。(例えば、IFRS適用理由、メリット、デメリット等)	53社
⑪IFRS導入の際にどのように社内整備を行ったか。	47社
⑥IFRSの難易度の高い会計処理(開示含む)に対してどのように対応したのか。	44社
③IFRS適用により業績評価や予算管理などの経営管理にどのような影響があったか。	40社
⑨IFRS適用初年度における有価証券報告書等の開示について留意すべき事項は何か。	40社
②IFRS適用の検討を進めていく中でどのような分野にコストや時間をかけたのか。	38社
⑤IFRSへの移行のタイミング(1Q短信から/年度短信から/有報から等)の決定に際して何を考慮したのか。(例えば、メリット・デメリット等)	37社
④社内のIFRSに関する理解を促進するために、経理・財務部門以外の部署との調整をどのように行ったのか。	34社
⑩IFRS適用前後における監査対応について留意すべき事項は何か。(例えば、監査法人との合意が困難であった論点等)	32社
⑧IFRS適用前後の投資家への説明においてどのような工夫をしたのか。(例えば、従来ベースの営業利益の開示等)	25社
⑦グループ会計方針を作成するに際して、連結子会社等との調整をどのように行ったのか。(例えば、トップダウン方式・ボトムアップ方式等)	24社
⑫IFRS適用の検討を進めていく中で、どのように情報収集を行ったか。	21社